

成果指標および参考指標の状況について

(1) 成果指標

成果指標 1	まちなかに新たに開設されたサードプレイスの数
内容	まちなか活性化プログラムに掲載されている事業を通じて、まちなかに新たに開設されたサードプレイス（※）の数 ※目指すまちなかの姿や基本方針の趣旨を踏まえ、目標値のカウントにあたっては、飲食店や理美容店などサービスの提供を主とした店舗等及び常設でない（人が常駐していない）場所は除きます。ただし、飲食等のサービスの提供がある場合でも、利用者同士の交流や居場所としての機能を主な目的とする店舗等（コミュニティカフェなど）は含みます。
目標値	2 か所以上 （令和 8 年度末時点の数） ※令和 8 年度末時点で現に運営されていないものについてはカウントしない。
目標値の考え方	まちなかの空家・空き店舗等を活用して、令和 8 年度までにサードプレイスが合計 2 か所以上開設されることを目指します。
進捗状況	2 か所 （令和 7 年 6 月末時点の数）

成果指標 2	まちなかで起業した人数
内容	まちなか活性化プログラムに掲載されている事業を通じて、まちなかで起業した人数
目標値	35 人 （令和 4 年度～ 8 年度までの 5 年間の累計） ※令和 8 年度末時点ですでに廃業している場合はカウントしない。
目標値の考え方	平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間にまちなかで創業した人数が 27 人（5.4 人/年）のため、これを維持した上で、本計画に基づく取組による上積みを検討し、7 人/年を目指します。
進捗状況	19 人 （令和 6 年度末時点の数） （うち 6 年度中に起業した人数 6 人）

成果指標 3	まちなかに居住した若者の数
内容	まちなか活性化プログラムに掲載されている事業を通じて、まちなかに居住した若者（15 歳以上 40 歳未満※）の数
目標値	10人以上（令和8年度末時点の人数） ※令和8年度までの間にいったん居住したものの令和8年度末時点で現に居住していない人についてはカウントしない。
目標値の考え方	若者向けの共同住宅（シェアハウス等）が令和8年度までに供給されることなどを目指します。
進捗状況	0人（令和6年度末時点の人数）

（2）参考指標

参考指標 1	歩行者通行量
内容	中心市街地区域内の調査地点における1日あたりの歩行者及び自転車の通行量。平日及び休日の9時から18時まで計測。
現状値	平日 4,416 人 休日 4,633 人 ※いずれも区域内の7つの調査地点の合計値（令和3年度調査）
指標設定の理由	まちなかに住む人、働く人、訪れる人の量と歩行者通行量は概ね比例すると考えられます。このため、まちなかの賑わいを測る尺度として参考指標に設定します。
令和6年度の状況	平日 4,549 人 休日 4,663 人 ※いずれも区域内の7つの調査地点の合計値（令和6年度調査）

参考指標 2	公示地価
内容	中心市街地区域内の標準値の地価公示価格（出典：国土交通省）
現状値	新栄町 20-2：36,400 円／有明町 2-2-17：60,700 円 ※いずれも令和3年1月1日時点
指標設定の理由	まちなかに住む人、働く人、訪れる人が増え、人気のエリアとなってくることによって、地価の向上につながってくると考えられます。このため、まちなかのエリアの価値を測る尺度として参考指標に設定します。
令和7年の状況	新栄町 20-2：34,800 円／有明町 2-2-17：60,400 円 ※いずれも令和7年1月1日時点

参考指標 3	市全体に占める中心市街地の居住人口の割合
内容	4 月 1 日時点の住民基本台帳人口で把握
現状値	6. 64%（中心市街地（100ha）7, 391 人/全市 111, 356 人） ※令和 3 年 4 月 1 日時点
指標設定 の理由	市全体に占める中心市街地の居住人口の割合が増えていくことで、都市 拠点への居住の誘導・集約の状況を把握することができます。このた め、まちなか居住の促進及びコンパクトなまちづくりの進捗状況を測る 尺度の一つとして参考指標に設定します。
令和 7 年の 状況	6. 53%（中心市街地（100ha）6, 778 人/全市 103, 759 人） ※令和 7 年 4 月 1 日時点